

## ◇1年生 DIG(災害図上訓練)

岐阜大学 地域減災研究センターの村岡治道先生から、DIG 災害図上訓練のお話をお聞きしました。DIG とは「D=災害 I=想像 G=ゲーム」の略で、地図の上で災害の場面をイメージして訓練を行うことだそうです。

川島町は、水害が非常に心配な地域です。生徒達は、まず始めに地域ごとに分かれ、登下校路の危険な場所(すぐに水たまりができるような場所、強風で木の枝が飛んでくるような場所)を考えました。



その後、過去の大雨や台風の際の TV 映像を見て、その危険性について学びました。

大雨の時など、道の上に水がたまってくると、どこが道なのかが分からなくなってしまいます。また、マンホールが開いてしまっても、見えないためその上を車で走ったり、歩いたりする危険があります。マンホールが開いていると、水圧で吸い込まれる危険性があるそうです。生徒達は、普段何気なく見ている TV 映像も、危険を感知して見ていく必要があることを学びました。



最後は、川島地区のハザードマップについてです。

ハザードマップでは、川島地区は、真っ赤に示されています。生徒達は、そういう状況を踏まえ、日常から危険な場所を把握して、災害時に備えて生活していく大切さを実感することができました。

